土質ボーリング柱状図（標準貫入試験）

調　　査　　名　一級河川　太田川水系　貞岡川　砂防事業に伴う測量設計等業務委託

事　業　・　工　事　名

調査目的及び調査対象　砂防　構造物基礎

ボーリング名	BorNo.R2-BS-4	調査位置	広島県東広島市志和町別府　地内	北　緯	34° 28′ 30.6598″
発注機関	広島県西部建設事務所　東広島支所	調査期間	令和2年12月 3日～ 令和2年12月 7日	東　経	132° 37′ 38.5657″
調査業者名		主任技師		現場代理人	コア鑑定者 / ボーリング責任者
孔口標高	TP 289.68m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	0°北 270°西 90°東 180°南
総削孔長	4.00m	地盤勾配	0° 水平 0° 鉛直 90°	使用機種	試錐機：東邦地下工機　DO-C型
					エンジン：ヤンマー　NF-110EK型　ポンプ：東邦地下工機　BG-3C型

標尺(m)	標高(m)	深度(m)	現場土質名(模様)	現場土質名	地盤材料の工学的分類	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位／測定月日
1	288.78	0.90		礫混り砂質土		暗褐	rd2		渓床堆積物 ・最上位は腐植混じる暗褐の腐葉土 ・礫はφ10-40mm程度以下、砂は細-粗粒砂 ・下位基岩層との漸移部では玉石点在	
	287.88	1.80		花崗岩		淡褐			白亜紀後期黒雲母花崗岩(CM) ・岩質やや堅硬、緩傾斜の節理が発達 ・採取試料は岩片-短柱状、コア肌粗面で節理間は黄灰色の流入土砂が挟在 ・GL-1.70m付近より全量逸水	12/10 2.39
2				花崗岩						
3						淡褐			白亜紀後期黒雲母花崗岩(CH) ・岩相比較的均質な細粒黒雲母花崗岩 ・岩質は比較的新鮮かつ堅硬コア肌滑らか ・採取試料はコア長L=30cm以下の短柱状であり、ハンマーの打撃で金属音を発する ・緩傾斜の節理が発達、一部で開口し場所的に節理面は暗褐色に変色 ・GL-3.20m付近、GL-3.60-3.70m間、緩傾斜の節理で脆弱化し礫-岩片状を呈す	
4	285.68	4.00								
5										
6										
7										
8										
9										

標準貫入試験

深度	N値	深度(m)	100mm毎の打撃回数 0～100	100～200	200～300	打撃ごとの貫入量	50回の貫入量	自沈時の貫入量
0 10 20 30 40 50 60	50以上	1.00	貫入不能			50/0	0	

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験	削孔月日
				12/4 12/5